

## 式 辞

新入生の皆さん、県立広島大学への入学、おめでとうございます。また、入学を果たされた皆さんの努力に敬意を表しますとともに、その志を支えて来られたご家族をはじめとした関係の皆様方に対し、心からお喜び申し上げます。新入生の皆さんが本学の一員となることを心から歓迎いたします。

今年度は、本学の3つの学部に、561名の学部学生、大学院研究科に85名の大学院生、助産学専攻科に10名の専攻科生、総勢656名の新入生を迎えました。

この3年間、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、世界の人々は生活が大きく変化し、苦しんできました。皆さんも、高校生として、そして大学生として対面での教育を受けることができず、また、思うように学習や研究が進まず、大変辛い思いをされ、進学への不安もあったかと思えます。本学も、この間、コロナ対策に腐心してきました。一昨年度は、感染防止のためほとんどの授業をオンラインでやらざる得ない状況でしたし、昨年度も大人数の授業などはオンラインで行いました。実験や実習の授業も思うに任せぬことが多かったと思えます。2020年1月、急に襲った社会の変化になんとか対応をして、この逆境を乗り越えて最善の教育を行おうと、すべての教員、すべての職員で努力してまいりました。

皆さんはその逆境をはねのけて県立広島大学に合格され、今日を迎えられましたことに対し敬意を表しますと共に、改めてお祝いを申し上げます。

現在、パンデミックをもたらしている新型コロナウイルス感染症は、わたしたち人類にとって大きな試練となっていますが、人類の歴史は感染症の歴史でもあります。幾つもの時代の転換期には病原体の存在がありました。世界を震撼させた感染症の代表例はペストです。1回目のパンデミックは6世紀に東ローマ帝国を中心に起こり、1億人以上の死者を出したと言われていました。14世紀に2回目のパンデミックを起こしています。その後、17世紀にも流行があり、この間、ペストはヨーロッパの人口の3分の1となる2500万人の人の命を奪ったとされていますが、アメリカCDCの試算では5000万人ともされています。このペストの終息には、北里柴三郎のペスト菌の発見が大きく貢献しています。今ではゲンタマイシンなどの抗生物質で治療することができます。さらに、16世紀には天然痘が流行し、現在の中南米にあったインカ帝国などに持ち込まれ、滅亡を早めたと言われています。1918年から20年にかけて大流行した新型インフルエンザ「スペイン風邪」では、第一次世界大戦の戦死者数を上回る2千万人から5千万人が死亡したと見積もられています。新型インフルエンザの流行はその後57年のアジア風邪、68年の香港風邪と続きました。しかし、ウイルスと共存しながら進化してきた人類の英知をもってすれば、このパンデミックにも打ち勝つことは必ずできるはずで

一方、今回のコロナ禍で露呈しましたが、今の日本は先進国の中で後れを取ってしまった分野があります。デジタル化です。新型コロナウイルス感染症対応では、日本のデ

デジタル化の遅れが浮き彫りになりました。2018 年に行われた調査によると授業中のデジタル機器使用時間において、日本は OECD 加盟国 37 か国中で最下位でした。大学で学んだ専門に関わらずデジタル技術は生きて行く上で必須の技術です。昨今、世界中で、サイバー空間での情報共有や、デジタル化が進んでいく中で、皆さんが今後、学んでいられるあらゆる学問分野においても、デジタルリテラシーの滋養が重要になってきています。本学においては、データサイエンス、計算社会科学に関する教育、研究基盤を強化し、今回、入学された皆さんから全員にデータサイエンス教育を施すとともに、AI、ICT、情報科学等の技術開発に向けた先端研究、教育を推進して、デジタル社会で活躍できる多様な人材を、育成して参ります。今、世界中で、若い世代の方々が ICT・情報・デジタル技術を活かした起業により、社会の構造を変えるようなイノベーションを創出しています。これからの時代は、情報科学に基づく知恵や技術を様々な分野に活かし、新しい価値を見つけ、それを社会実装していく能力が必要でしょう。

ところで、世界デジタル競争力ランキングをスイスの IMD、国際経営開発研究所が 2013 年から毎年発表していますが、例えば、シンガポールは常にトップグループに位置付けられています。一方、日本は、シンガポール、香港、台湾、韓国、中国などよりも下位に評価されています。1980 年代から 90 年代前半にかけて、日本がシンガポールに対して、ソフトウェアの人材育成や AI 専門家の育成に技術協力を行っていましたが、このことを知る人はほとんどいません。日本はかつてシンガポールのデジタル化の指導役だったのです。ではなぜ、シンガポールがデジタル先進国になることができたのでしょうか。1991 年当時のゴー首相は、シンガポール国民が豊かな生活を享受し、国家が繁栄するためには、20 世紀末までに世界の先進国にならなければならないと、その実現のためには有能な海外人材の誘致、国民の教育、産業競争力の強化が必要とし、「情報技術、ICT の広範な利用」が重要だと述べていました。今から 30 年も前のことです。

新型コロナウイルスの流行や、地球温暖化に伴う気候変動や異常気象、台風や地震といった災害など、予測が困難な事象が次々と起こっています。今まで「常識」だと思っていたものが「非常識」に、今まで「非常識」だと思っていたものが「常識」になっているのです。このような時代を乗り切るためには、かつてゴー首相が述べた「情報技術・ICT の広範な利用」が必要です。それにはまず、最新の技術に対する知識と理解、そして、その情報を集める収集力が必要です。時代の変化の起点である最新技術の理解は必須です。次に、自らの頭で考える力です。オックスフォード大学の調査結果によると、10~20 年後には日本の労働人口の半数の人が就いている職業が、AI やロボットに代替えされると推定されています。しかし、AI は万能ではありません。これまでにない課題を解決する仕事や数値化できない人間の感性や経験に基づく創造的なアイデアを生み出す仕事はできません。私たち人間にしかできない「考える力」を高めていく必要があると思っています。

話は変わりますが、日経 BP コンサルティングが実施した「大学ブランド・イメージ調査 2022-2023」が令和 4 年 11 月 25 日に発表され、県立広島大学は中国・四国の公立大学の中

で、大学認知率・入学推薦率・採用意向率が1位となりました。特に、中学生以上の父母を対象とした調査においては、大学のブランド力を測る49項目のうち27項目が1位、9項目が2位でした。1位となった大学評価の項目には、時代を切り開いている、自由闊達である、誠実で正直である、信頼できる、在学中の資格取得に積極的である、就職状況がよい、などがあり、本学学生の評価としては、勉強、研究に熱心である、意見を言える、リーダーシップがある、問題解決能力が高い、などがあります。今後は、49項目すべてで1位になるよう努力していこうと思っていますので、皆さんもぜひ我々の取り組みに加わっていただき、人類、世界にとってwell beingな社会を実現するために頑張ってください。

本日は、誠におめでとうございます。

令和5年4月7日

県立広島大学 学長 森永 力